

南の風トーク～くにたち市民討議会～ 中間報告会記録（要旨）

日 時：平成21年4月24日（金）午後7時00分～午後8時45分

場 所：国立市役所3階 第1、2会議室

出席者：18名

傍 聴：4名

実行委員会：6名（立川青年会議所2名）

事務局：3名

配布資料：①中間報告会資料

②意見受付用紙

司会進行（宮崎委員）

1. 開会（小林委員長）

- ・ お忙しい中お集りいただき、ありがとうございます。
- ・ 2月21、22日の市民討議会においては大変ありがとうございました。
- ・ 本日は報告書作成にあたり、皆様にいくつかご確認いただきたいことがありますので、よろしく願います。

2. 趣旨説明（小針委員）

- ・ 皆様からいただいたご意見を資料のとおり実行委員会で整理しました。
- ・ 記載の間違いなどがどうか、また実行委員会のまとめ方が皆様のご意見の趣旨に違わないかどうかなどについてご確認をお願いしたいと考えています。
- ・ 本日いただきましたご意見は実行委員会で検討し、何らかの形で報告書に必ず反映させたいと考えています。
- ・ なお、当日のご意見を変えることはできません。
- ・ ご意見をいただく時間が足りない場合は、ご意見受付用紙にご記入ください。返答が必要な場合はその旨をご記載ください。

3. 実施報告書の構成と内容について（小林委員長）

- ・ 資料の3～4ページを説明した。

【ご意見】特になし

4. 討議結果と分析について

- ・ 実行委員会でまとめた分類内容と分析結果についてテーマごとに実行委員より説明し、ご意見をいただいた。(テーマ1～3の説明は小林委員長、テーマ4～6の説明は家坂副委員長)

●第1回話し合い「南部地域の魅力について」に関する主なご意見 特になし

●第2回話し合い「南部地域の課題について」に関する主なご意見

- ・ 報告書がカラー印刷であれば得票の多いものをカラーで目立たせるなどできるが、白黒印刷であれば、太字にしたり文字サイズを大きくするなど工夫して、高位の意見をわかりやすく表現してほしい。
- ・ 分析の表は得票の多い順に並べるように統一してはどうか。円グラフも白黒印刷だと境界が不明なので、模様などで工夫してはどうか。

●第3回話し合い「南部地域を広く市民に知ってもらうにはどうしたらよいか」に関する主なご意見

- ・ Bグループの「残したい意見」欄に「大歓楽街をつくる」とあるが、どういうことか？
- ・ 歓楽街という言葉は記憶がないが、映画館など娯楽の場があると良いという意見が出ていた。確かに、歓楽街というのは不適切な表現と思う。
- ・ 出された意見を批判しないというのが当日のルールだったが、文教地区のある国立市が公にする文書として、歓楽街という語句を載せるのは良くないのではないか。
- ・ このような意見が出たことを消してしまうというのは良くないと思う。歓楽街が好きな人もいるし、歓楽街という言葉は公には言いにくいことではあるが、あえて出てきたということは市民の要求があるのだと思うので、このまま残しておいたほうが良い。
- ・ 大歓楽街という言葉そのものが独り歩きしてしまう。「例えば映画館のような」といった言葉を補足してはどうか。年配の人にとって、歓楽街という言葉はある種のイメージがあるので、文章を読む人に誤解される可能性がある。誤解されないように表現すべきだ。
- ・ 風俗と受け取られると良くないが、ゲームセンターのような健全な娯楽センターによって人を集める必要があるという気持ちから出た言葉だった。
- ・ 言葉が独り歩きしないよう、誤解を受けないように注釈を入れてほしい。
- ・ Bグループの「その他」に分類されている意見が第1位の得票となっている。「その他」という表現では脇に寄せられているような印象を受けるので、分類または表現を工夫してほしい。
- ・ AとBの表を左右で比較しやすいように順番を並べた形跡があるが、左右がそろわなくても良いので順位のとおり並べる方が良い。
- ・ Bグループの「知ってもらうために…目的はなにか」という意見は、文字では表現されて

いないが発表の中で「人を呼んでくるためにも中身が大切だ」ということを口頭説明しそのことが皆さんに支持されたのだと思う。

●第4回話し合い「南部地域を住みやすくするにはどうしたらよいか」に関する主なご意見

- ・ 「環境が良いのでらしさとして福祉重点」の意味がわからないので、そのグループの方がいたら説明してほしい。
→環境が良い現状があるので、施設などを配置して福祉に重点を置くことでよりこの地域らしさが出てくるのではないかと、という意味が込められている。
- ・ 「国立から出る」という意味がわからない、人口を減らすということなのか？このように意味不明な意見は公表しないほうが良いのではないかと。
- ・ 「こう書いてあったからそのまま公表する」というやり方は幼稚だと思う。意味が通らなければ、読む人に理解できるように実行委員会が追及しなければならないと思う。
- ・ 「残したい意見」はその場の雰囲気や勢いで書いた側面があると思う。まとめるにあたって「書かれたまま転記する」という原則であれば、その原則のとおりになると良い。ただし、書いた時点での誤字や字が浮かばなくてカタカナになっているものなどは直していただいてかまわないと思う。
- ・ 「高速から南は対象外」とはどういう意味か？そのグループの方がいたら説明してほしい。
→南部地域には準工業地域が広がっており高速道路以南には農地が残っていないことから、今回の南部地域基本計画の対象から外してはどうかというような話があった。
- ・ 報告書は誰の名前で公表するのか？公表後に質問等があった場合には誰が説明や回答を行うのか？
→実行委員会が編纂し、実行委員会の名前で公表する。実行委員会は当日に書き残された記録に基づいてまとめている。実行委員の意見や考えが入り込まないように慎重に対応している。今日いただいたご意見は出来る限り反映させるとともに、公表したときに疑義が残らないような表現等を工夫したい。
- ・ 個別の意見には発言者の著作権があるが、一方で編集者がどのように理解したかという編集著作権もあるはずだ。その部分に編集責任があると思うがどうか。
→実行委員会の責任でまとめるのであるから、誤った解釈を生じたいようにしていきたくない。
→市民討議会推進ネットワークの顧問弁護士からは、実行委員会には編集著作権はないと聞いている。表現の自由の侵害とならぬよう、当日の意見を間違いなく公表する責務があると思う。実行委員会の勝手な解釈が入らないよう、今日のような会を設けている。
- ・ 欄外の「残したい意見」については、投票の対象にしなかったものだったため、「残したい意見（投票対象外）」と明記してはどうか。当日模造紙に「残したい意見」と表記されていたが、実際には当日の話し合いの中での特異な意見がこの欄に書かれた。

●第5回話し合い「南部地域を豊かにするにはどうしたらよいか」に関する主なご意見

特になし

●第6回話し合い「南部地域を住みやすく豊かにする、を実現するにはどうしたらよいか」に関する主なご意見

特になし

5. 今後の予定と報告書の完成予定について（小林委員長）

- ・ 今日いただいた意見を参考に報告書の作成を進める。完成は6月上旬を予定している。
- ・ 報告書の完成後は、皆さんの代理人として私が責任もって市長に提出し、その後皆さんにも報告書をお届けする予定としている。

【ご意見】

- ・ 報告書に検証と評価のページがあるが、どういう立場でどのような基準で評価するのかを明記しておいてほしい。また、手法の特徴の箇所では、発想方法はブレインストーミング、発想の表現方法はK J法、全体運営がプランニングスツェレであったと思うので、なぜそのような方法によったかを明記してほしい。

6. 市民討議会の実施に関するご意見

- ・ 市が市民の考えを直接聞き、市政に反映していくという姿勢には敬意を表する。しかし、例えば泉団地の生活不便は国の道路行政や構想や広域的な役割の中で生じている問題であるから、現状で検討しても間に合わないのではないかと市民討議会一日目を感じた。市民討議会は何でもいいから意見を出してほしいという趣旨だったが、現状を認めただけでその現状をどうしていくかという意見の求め方をすれば良かったと思う。
- ・ 南の風トークに参加できた事を非常に感謝している。国立について知らない事がたくさんあったことがわかった。高速道路の騒音や排気ガスなどの地域の課題もあるが、良いところもたくさんあって守っていきこうという話や建設的な意見がたくさん出た。市民討議会の意見を前向きに生かしてほしい。
- ・ このようにまとめてくれたことは評価するが、最終目的は市民の意見を実現することだと思う。いろいろな障害があってもできることは少ないかもしれないが、今後は実現に向けて進んでほしい。

7. 閉会（家坂副委員長）

- ・ 貴重なご意見や実行委員会としても勇気づけられる意見をたくさんいただきありがとうございました。
- ・ 私も一市民であるが、実行委員会に参加して得るものが大きかった。
- ・ 参加された皆様の熱意やご努力に感謝申し上げます。

以上

写 真



▲中間報告会の趣旨説明



▲質疑応答



▲質疑応答



▲傍聴者